

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No. 8 5 2 0 1 4 . 1 . 8

発 行 責 任 者 柿 本 克 彦

編 集 責 任 者 教 宣 部

会社の作業指示で職場が大混乱！！

担当者がいない！！チェックシートも標準化もいい加減！！他の職場もお構いなし！！

減！！他の職場もお構いなし！！

1月3日、東京と品川駅間の沿線火災で新幹線電車が止まり、ダイヤが大幅に乱れました。そのため、大阪仕業検査車両所にも大きな影響がありました。特に3日の夜から4日の朝にかけて異常なほど多くの電車の検査をしなくてはならない状況になりました。

通常、多くても23本、緊急時でも最大24本の仕業検査が、この日25本となり、この1本をどうするか問題になりました。会社はこの1本を申告担当者にさせることにしたのです。

通常、申告担当者が仕業検査をすることはありません。しかも、仕業検査はA、B、C担当（社員）とD担当（外注）の4人体制で行いますが、この時会社は「3人でやってくれ」と作業指示してきたのです。

「D担当と行う員数管理もできない」そのため「チェックシートの未記入」「持っていく工具もない」「D担当が行う修繕業務はどうするのかもわからない」と担当社員は抗議したが、会社はただ「やってくれ」の一点張りでした。

いつも会社は標準化の手順やチェックシートを厳守させ、ボーナス・カットの理由にもなっているのに、この時ばかりはただ「やってくれ」のいい加減な作業指示でした。

申告担当者も通常の作業もありますが、その作業はなんと職場の違う大阪修繕車両所にさせたのです。申告作業にもちゃんとした標準化もありますが、この手順書も渡していない大阪修繕車両所の社員に担当させたのです。標準化ができるわけがありません。それでも構わないのです。

業務を回すためには、何でもありか？！

職場に掲げてあるスローガンはただの飾りか？！

営利優先、運用優先にして多くの尊い命がなくなった大事故を忘れません。事故の原因をすべて現場社員の責任にすることは許しません。

私達はこのことをしっかり問題にしていけます。